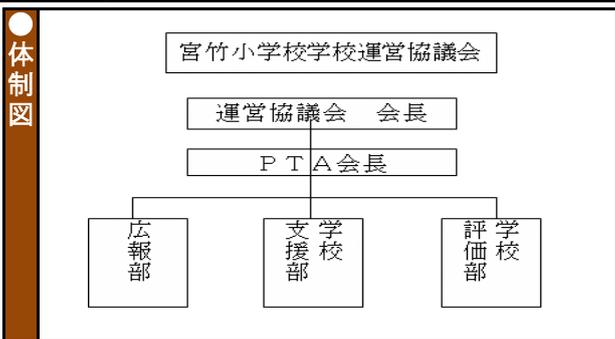


石川県能美市	●活動名	●関係する学校名
	宮竹小学校学校運営協議会	能美市立宮竹小学校

協働活動開始年度	平成 29 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	8 学級	のべ児童・生徒数	140 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数			
	1人			1人			
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携			
	平成29年4月1日設置		55人	無			
参考URL	http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~mivate/NC2/htdocs/						



●連絡先	能美市教育委員会 学校教育課	☎ 0761-58-2271
------	----------------	----------------

●活動の概要・経緯

○平成29年から能美市コミュニティ・スクール事業が始まり、市内全小学校8校に学校運営協議会を設置。宮竹小学校は平成27年度から「地域とともにある学校づくり」の仕組みを整えていくために「学校地域元気アップ事業」を開始し、平成28年度からモデル地区の一つとして学校運営協議会を設置。コミュニティ・スクールディレクターを中心に、学校の現状やニーズを把握し、学校と家庭、地域による学校支援活動を実施。

○運営協議会の中に学校評価部、学校支援部、広報部の3つの部会を組織し、協働的に取り組んでいる。

○年度初めに協議しながらアクションプランを立て、「知」「徳」「体」「家庭・地域」の調和のとれた取組を行う。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①安全面に配慮した学習支援や見守り：家庭科（調理実習・ミシン指導等）や図工科（彫刻刀やのこぎりの使い方等）など、多岐にわたり安全面に配慮したきめ細やかな対応ができるよう、多くのボランティアが入っている。鉄棒運動、マラソンの練習や大会における励ましや安全を見守る支援は、児童の苦手意識を克服し、自信につながる支援となっている。
- ②補習的学習支援：地域の方が教員の代わりに、昼休みに行う検定（九九や音読を聞く等）は、児童の自己肯定感を高める時間となっている。週3回地域の方に来てもらい、子どもたちは自分の学びの成果を認めてもらえるので喜んで取り組んでいる。また、地域に住む元教員が自由研究の取組方をアドバイスしており、自由研究の作品内容が充実してきている。
- ③環境整備等による学校支援：学校の環境整備等の困り感を解決すべく、地域の方が学校の要望に応じて、運動会の紅白の団旗を作ったり、たくさん雑巾を縫ってくれたりする等の支援を行っていた。学校の除草作業も地域の協力を得ている。また、授業の準備において拡大機を使った教材作成も地域の方が手伝っていた。

【実施に当たっての工夫】

- 学校のニーズを素早く把握し、町内会や老人会など地域の各団体との連絡を密にして、委員が積極的にかかわりながら取組みを推進した。
- 「広報部」「学校支援部」「学校評価部」の3部会が中心となって、アクションプラン（子どもの成長を学校・家庭・地域が共に応援するプラン）の実現を図ることで、委員の意識が高まった。
- 授業などに必要な学習支援のサポーターは学校支援部が中心となって連絡・調整し、学校の教師の負担を軽減した。
- 協議会において、学校教育ビジョンの理解や宮竹小児童の良さや課題についての話し合いを行い、めざす宮っ子の姿を委員全員で共有することで取組への意欲化を図った。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 昼休み検定では、サポーターに丸付けをしてもらい、ほめてもらうことで、喜びや達成感、意欲の向上が見られ、基礎・基本の定着が進んだ。
- アクションプランを各家庭が掲示することで見える化が図られた。年度末のアンケート結果からも親がほめることで、子供の変容が見られたことや親子の対話を多くするよう努めているなど、良い評価が見られた。
- 地域に伝わる民話の学習や地域の自然とふれあう体験等のふるさと学習を充実させることで、地域に対する理解が深まり、地域の行事に親子で参加する姿が多く見られた。
- 学校運営協議会が地域と学校をつなぐことで、地域の協力が得やすくなり、活動に参加するサポーターが増えた。そしてサポーター同士が互いに声かけあって参加する姿も見られ、前よりもつながりが深まってきたように思える。

●その他

朝の読み聞かせ、登下校の見守り活動、クラブ活動の指導、理科クラブ支援、理科学習支援、昔遊び、環境整備など学校とともに地域住民が主体となった様々な活動を展開している。



活いイ地域、モ域の住（）裁の住培苗民に植の協り方組法を得て、いえてサ（もツマ生らマ



てら屋もプ休（）らリみに（）つってん地学的習のサ（丸）ポーター（）支援をし（）か